# 国　語

4年㊦　月⑤

**解　答**

1　1　標本　2　念願　3　仏教　4　積む　5　議題
　6　実験　7　圧勝　8　栃木　9　新潟　10　日課

2　問一　1　A群 **ウ**　B群 **エ**　2　A群 **ア**　B群 **カ**
　　3　A群 **イ**　B群 **オ**　（それぞれくんで）
　問二　1　**オ**　2　**エ**　3　**ア**　4　**ウ**　5　**イ**
　問三　1　**エ**　2　**イ**　3　**オ**　4　**ウ**　5　**ア**

3　問一　1　**生きもの～入らない**（くんで）
　　2　**オオクチバスが池に入りこむことで、そこにすむ生きものたちが食べられて消えたから。**
　問二　①　**十メートル四方**　②　**水草がほどよく生えて**　③　**たくさんの生きもの**
　問三　**エ**　問四　**生物多様性**
　問五　1　①　**黒い**　②　**下あご**　③　**オオクチバス**　2　**イ**

4　問一　1　**ア**　2　**イ**　3　**イ**　4　**ア**
　問二　**地球に～がある**〔から。〕（くんで）
　問三　A　**イ**　B　**ウ**　問四　**ウ**
　問五　1　×　2　○　3　×　4　×
　問六　**ア**

**解　説**

3　出典は、松沢陽士「外国から来た魚 ―日本の生きものをおびやかす魚たち」〈フレーベル館〉。

問一　1…傍線部より後の17・18行めに着目しましょう。「ぼくは網を水中に差しこんで、水草の根元をすくってみる。しかし、案の定生きものの気配はなく、網には何も入らない」とあります。　2…文章の後半に、「もしその中の何かひとつの生きものがいなくなると、網の目がやぶれるように穴が開き、いなくなった生きものと関連のあった生きものにも影響が及ぶ」（37・38行め）とあります。その後に「オオクチバスがため池に入りこむことで、そこにすむ小魚やヤゴ、オタマジャクシが食べられて消え」（39行め）てしまったとありますから、この部分をまとめましょう。

問二　少し前の池について書かれた部分を確認します。「目の前にほんの十メートル四方の小さな池があった。水草がほどよく生えていて、いかにもたくさんの生きものがいる雰囲気だ」（5・6行め）とあります。

問三　「案の定」とは、好ましくない予想通りの結果になった、思っていたとおりという意味です。予想どおりにオオクチバス以外の生きものが見られなかったのです。

問四　少し後に、「このようにいろいろな生きものが数多く存在し、さらにそれらがすむ環境が保たれ、生きものがお互いに支えあい、関係しあっていることを『生物多様性』という」（35・36行め）とあります。

問五　1…オオクチバスのことです。その特ちょうは文章のはじめのほうに書かれています。「大きさは二十センチメートルほどで、体の横に黒い模様が見える。ため池の水はきれいに澄んでいて、下あごが突き出た魚の顔まではっきり見てとれる」（9・10行め）とあります。　2…39～42行めを読んでいくと、ア、ウ、エは正しいことがわかりますね。イは稲が増えるどころか減るわけですから不適切です。

④　出典は、三浦秀行「地球は回っている」（宮内主斗 編著『たのしい理科こばなし②宇宙ともの』〈星の環会〉所収）。

問一　空らんの前後をよく読みましょう。「［　1　］は空（天）がうごいているものだ」という考え方のことなので、天動説、［　2　］は「『地球が回っている』という考え」なので地動説、［　3　］は「当時の人びとにとっては、地球がうごいていることが信じられない」時代にガリレオが裁判にかけられたということなので地動説、［　4　］は「力学が、むかしはわからなかった」ために信じられていた考え方のことですから、天動説です。

問二　⑧段落に「こんなにものすごいスピードでも、地球上のものが、宇宙にとばされないのは、地球に重力という力があるからです」とあります。

問三　空らんの前後の関係を考えましょう。Aは前の内容に対してほんとうにそうなのかと疑問を投げかけている内容があるので、逆接の「しかし」が入ります。Bはそのあとに具体例があがっているので、「たとえば」が入ります。

問四　自分を中心として考えただけでは太陽がうごくのか地球がうごくのか決められないので、視点を変えてみるべきだということです。このあとに、「太陽のほか、数千の星が地球のまわりを回るより、太陽やほかの星が止まっていて、地球が回っている方が、ありえる話だとは思いませんか」とあります。

問五　文章全体と照らし合わせながら考えていきましょう。1は「すべての人びとが～知っていた」が×、2は⑧段落に記述があるので○、3は正しくは「外がわ」ではなく「内がわ」なので×、4は「半数」がふさわしくないので×です。

問六　①～④段落は天動説と地動説について書かれています。⑤段落の最初の「それでは」は話題の転換をあらわすことばです。昔の人々が重力を知らなかったために地動説が受け入れられなかったことが書かれています。⑩段落からは地球から見たうごきについて書かれています。